

令和7年9月10日

保護者様

基山町立若基小学校
校長 城戸 幸一

令和7年度全国学力・学習状況調査（6年生）及び
令和7年度佐賀県学力調査（5年生）の実施結果について（概要）

今年の4月全国の国・公・私立学校の小学校6年生を対象に、「令和7年度全国学力・学習状況調査」が、佐賀県の小学校5年生を対象に「令和7年度佐賀県学力調査」が実施されました。今年度分の調査結果の概要をまとめましたのでお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

【全国学力・学習状況調査 6年生の結果】

○生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要 （ ）は全国平均

(1) 特に良い傾向が見られる主な項目

- ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」100% (96.4%)
- ・「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」96.7% (89%)
- ・「国語で学習したことは、将来、役に立つと思いますか」93.4% (90.4%)

他にも、「算数で学習したことは、将来、役に立つと思いますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「5年生までに受けた授業でPC、タブレットなどのICT機器を週3回以上使用しましたか」等、全国平均と比較して、良い傾向が見られる項目がありました。

(2) 課題が見られる主な項目

- ・「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか」33.3% (68.9%)
 - ・「将来の夢や目標を持っていますか」66.6% (83.1%)
- 他にも、「分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」、「友達関係に満足していますか」等、全国平均と比較して、課題が見られる項目もありました。

○教科ごとの調査結果の概要

〔正答率〕	国 語	算 数	理 科
若基小学校	68.0%	62.0%	57.0%
佐賀県	64.0%	54.0%	55.0%
全 国	66.8%	58.0%	57.1%

(1) 国語の調査結果概要について

- ・国語全体については、全国平均及び県平均と比べて高い結果であった。特に、「我が国の言語文化に関する事項」の領域について、よく理解していた。
- ・目的に応じて必要な情報を取捨選択し、条件に合わせて記述する問題については、全国平均と比べて低い結果となった。

(2) 算数の調査結果概要について

- ・算数全体については、全国平均及び県平均と比べて高い結果であった。特に、「図形」と「測定」の領域について、よく理解していた。
- ・数直線上に示された数を分数で書いたり、伴って変わる2つの数量の関係に着目し、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述したりする問題については、全国平均と比べて低い結果となった。

(3) 理科の調査結果概要について

- ・理科全体については、全国平均は同程度だったが、県平均は上回った。特に、「エネルギー」を柱とする領域について、よく理解していた。
- ・実験結果をもとに結論を導いた理由を書いたり、差異点や共通点をもとに新たな問題を見いだしたりする問題については、全国平均と比べて低い結果となった。

【佐賀県学力調査 5年生の結果】

○教科ごとの調査結果の概要

〔正答率〕	国 語	算 数
若基小学校	70.6%	69.0%
佐賀県	61.1%	62.2%

(1) 国語の調査結果概要について

- ・国語全体については、県平均と比べて高い結果であった。特に、「我が国の言語文化に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域について、よく理解していた。
- ・中心となる語を見つけて要約したり、自分の考えと事例との関係を明確にしながら文章を書いたりする問題の正答率が低かった。

(2) 算数の調査結果概要について

- ・算数全体については、県平均と比べて高い結果であった。特に、「図形」、「変化と関係」の領域について、よく理解していた。
- ・四則の混じった式の計算順序を理解したり、数量の関係を割合を使って説明したりする問題の正答率が低かった。

教科の調査結果より

5・6年生の児童は、日頃から落ち着いて学習に取り組むことができおり、このことが知識・技能の定着につながっていると思われます。一方で、要約したり、理由を書いたりするなど、目的に応じて情報を整理し、分かりやすく伝える力に課題が見られました。そこで、今後は、課題解決のために、条件を意識した振り返りや自分の考えを書くなどの表現活動を充実させたり、問題の意図を正確に読み取るような課題に取り組ませたりしていきたいと考えています。

若基小学校の学力向上の取組方針

- 観点や条件を意識した表現活動（書く活動、話す活動など）を取り入れた授業を行うことで、表現力を高めます。
- 児童が自ら学習に取り組めるような手立て（学び合いなど）を工夫することで、主体的に学習に取り組む児童の育成に努めます。
- 一人一台端末等の ICT 機器を活用した学力向上のための取組を推進します。
- 読書活動を推進し、文章を読み慣れるとともに、読解力や想像力を高めます。

保護者の皆様へ（ご家庭での協力お願い）

6年生の調査結果から、90%以上の児童が、決まった時刻に起きて寝るという規則正しい生活ができていました。また、約73%の児童が、毎日、朝食を食べていると答えていました。朝食を食べることは、健康維持だけではなく、集中力の向上にもつながると言われています。心も体も元気な状態で学習に向かうことができるよう、今後とも保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

家庭学習の様子に目を向けると、約43%の児童が平日、1時間以上学習していることが分かりました。家庭学習の習慣を身に付けることで、知的好奇心を高めたり、社会に出てからも必要となる自ら学ぶ力や自己管理能力を育んだりすることができます。主体的に家庭学習に取り組むことができるように、引き続き授業改善を進めるとともに、子供のできたことや頑張っていることをほめて認める声掛けを行っていききたいと思います。ご家庭でも、温かい励ましを引き続きお願いいたします。